

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月11日(火) 14時00分～15時40分
- 3 開催場所 関高等学校校長室
- 4 参加者
会長 大野 正博 朝日大学法学部 教授
副会長 村井 義史 本校 同窓会 副会長
委員 福田 恵介 福田刃物工業株式会社 取締役
平田 久美子 平田建設株式会社取締役
衣斐 七海 関市 産業経済部観光課
永田 陽一 本校 P T A 会長

学校側	武田 理	校長
	関谷 篤	教頭
	植田美智留	教頭
	岸 正美	事務部長
	進 晶彦	教務主任
	杉山 広之	生徒指導主事
	片桐 良子	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	戸崎 由希子	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

スクール・ポリシー、教育指導の重点及び学校経営計画、並びに教務・研究推進部・進路・生徒指導・特別活動に関する学校側の説明に対し、下記のような意見・質疑応答を実施

- 意見1 教育を進めていく中で今後 DX の活用は必要であるが、併せて情報リテラシー教育の拡充も重要である。また、関高校の教諭は適切に理解されているが、探究活動の真の意味を理解すると同時にさらに教科教育と連携して進めることが必要である。各生徒が情報の真偽をしっかりと見極める能力を養うことが今後の課題であろう。
- 意見2 不登校について聞きたい。社会でも問題になっており、最近では若手弁護士でも廃業する人が多い。つらいことがあるとすぐ辞める。人事関係者によると、高校まで甘やかされてきてしまったからではないかとのことだ。小中高で「休んでもいいよ」という指導が影響しているのではないか。ハラハラという言葉があるが、何がハラスメントかについて生徒に適切に教える必要があるのではないか。上司も部下もハラスメントの定義をしっかりと把握していない。ハラスメントという言葉の正しい定義について教科内でも教えていく必要がある。
- 質問1 ハラスメントについて、関高校で工夫している点を教えて欲しい。
- 教職員に対して注意喚起することはよくあるが、生徒に教える場面はほとんどない。教科指導と連携して教える場面を検討したい。
 - 厚労省が出している基準を伝え、ハラスメントの具体的内容を伝える必要がある。
 - いじめ問題についても言えることだが、現在は「言ったもの勝ち」の傾向がある。法律上のいじめと社会通念上のいじめについて教職員が理解して伝えることが大切であると思われる。教科教育の中で事前に定義を示し、許容範囲を生徒に理解させることが重要だ。

- 質問2 探究について、他校では外国へ行くことや表面的にネット検索をすることが探究活動と誤解している高校の先生も多いが、関高校はどのように進めているのか。
- 関市や美濃加茂市のデータ担当の方や大学のビッグデータ専門の先生からご指導いただけるように準備をしている。
- 意見3 スクール・ポリシーの「豊かな人間性を備え」が大切だと思っている。高校時代は人間的に大きく成長する。部活動の友達と深いつながりが持てる。高校時代の先生に声をかけられたことで進むべき道が決まった経験がある。是非、スクール・ポリシーの実践を続けて欲しい。
- 質問3 こんなに素晴らしい関高校が去年は定員割れをしている。来てほしい学力層の生徒は入学しているのか。
- 学力的に幅広い層から成る生徒集団である。勉学、部活動、探究活動、特別活動等熱中できる居場所があるとよいが、心配な生徒には学年主任や担任が声掛けをしている。どの生徒も高校3年間で大きく変わるので、その成長を期待している。
- 意見4 コロナ禍以降、企業は急激にDXを導入している。大学でも滋賀大や名市大等でデータサイエンス系の学部ができています。データを使うことも大事だが、論理的思考力が問われる。学校とは実社会に出るための準備段階である。実社会では理不尽なことや足を引っ張られることはよくある。自主性を養い、それらをどう乗り越えるか学んでほしい。
- 意見5 地元に残りたい生徒が4割いると聞いたが、どんどん世界へ出て働いてもらい、生き生きと楽しく強く生きてほしい。そのためにも、学校は自主性、多様性を育ててやって欲しい。
- 意見6 不登校が増えていることが気になる。職場でも就職してすぐ辞める人が増えていて、働き続けることが難しくなっている。将来働くためのベース、生きていくためのベースを持つために、高校ではマナーやモラルを教えてもらいたい。高校卒業後に親元を離れる生徒にとっては、高校3年間でマナーを学ぶ最後の機会である。
- 意見7 先生方の働き方について、進路関係や補習等仕事量が増えているので心配である。職員のケアも学校運営の中の一つの項目だと思うので、余裕が持てるよう改善したほうがよい。
- 意見8 関市役所ではデジタル推進部局が「データダッシュボード」を市のホームページで公開しており、誰もが活用できるようになっている。データ活用の目的が明確であるといっそう協力しやすい。
- 意見9 市役所でも早い段階で退職する職員もいるため、今の若者には終身雇用という概念が以前に比べて薄まってきていると感じる。
- 意見10 保護者の立場から、(学校運営協議会で)生徒のためにこのように話し合いをしていただけていることに感謝したい。進路指導部からの提案にあった生徒に必要な講座等について、PTAとして是非協力したい。
- 意見11 関高校の探究活動やDXハイスクール事業に関心を持っている。それらの活動が新聞でもよく報道されており、今の高校生はこんなこともできるのかと感心している。子供たちも充実した高校生活を送れている。昔は高校とは勉強だけするところだと思っていたが、(探究活動を通して)地域の人々と話す機会があることは、社会へ出てからの糧になるので非常に良い。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、3つの方針(スクール・ポリシー)、教育指導の重点及び学校経営計画、各分掌の今年度の方針と重点について学校側担当者から説明を行い、委員の皆様から忌憚のないご意見をいただいた。今年度の本校の学校経営方針について十分にご理解いただき、全委員より承認が得られた。また、質疑応答を通して、現代の高校を取り巻く諸問題について認識を共有できたことも貴重な機会となった。